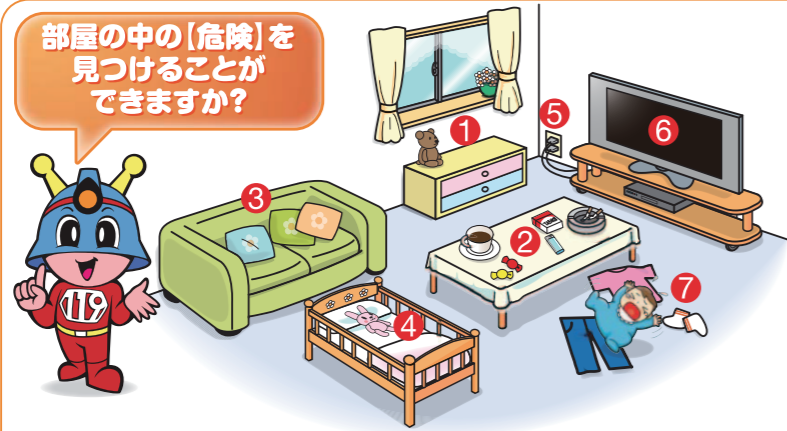


# ヒヤッ!としたことはありませんか? 幼児の事故は、家の外だけではありません!

幼児の事故は屋外で発生していると思いがちですが、実は家の中でも多く起こっています。東京消防庁に救急要請のあった事例を元に、家庭にはどんな危険が潜んでいるかをご紹介します。



- 部屋の中の「危険」を見つけることができますか?**
- 窓の下に物が置いてあると、子供がよじ登って窓から落ちる危険があります。
  - テーブルの上は、子供が興味を示すものがいっぱいあります。
  - ソファから落ちてケガをするケースが多くあります。
  - ベビーベッドからの転落も多いです。
  - 子供はコンセントにも興味津々です。感電の危険があります。
  - 薄型テレビは、ちょっとしたことでバランスを崩し倒れる可能性があります。
  - 床に置かれた衣類は、転ぶ原因になります。

**事故防止のヒント**

- ★家庭内での子供の事故で最も多いのは、転倒です。床に置かれた衣類や段差は転ぶ原因になります。転んだ先にイスやテーブル、食器などがあると大きなケガにつながるかもしれません。原因になりそうなものを、もう一度点検してみましょう。
- ★子供は、大きさが約4cm以下(目安として標準的なトイレットペーパーの芯の大きさ)のものなら口に入れる恐れがあります。



- \*\* ご自宅の危険をチェック! \*\***
- 窓の下やベランダに、登るための台になりそうなものはありますか?
  - テーブルの上に、たばこやライターなど誤って飲みこんでしまいそうなものを置いていませんか?
  - 衣類などつまづく原因になりそうなものを床に置いていませんか?
  - コンセントキャップ等でコンセントに直接触れないような対策をしていますか?
  - 家電製品や家具は固定してありますか?
  - ベビーベッドの柵はきちんと閉めていますか?

## 命を救うAED

**使い方はAEDが声で教えてくれます。**

AED(自動体外式除細動器)は、心室細動(心臓がけいれんし、血液を全身に送りだせなくなる状態)を起こした人に対して電気ショックを与え、心臓の動きを正常に戻すためのものです。

AEDは、電源を入れると、声で使い方を教えてくれるので、一般の人でも簡単に、正しく使うことができます。心肺蘇生とAEDで、命を救うことが可能なのです。

**AEDの使い方は、とても簡単です。**

AEDは、電源を入れるとはじまる音声ガイドに従い「胸部にパッドを貼る」など、簡単な操作で正しく使うことができます。電気ショックが必要かどうかAEDが判断して、教えてくれます。

## AEDの使い方

- 誰か来て下さい。119番通報してください。
- 胸骨圧迫の位置は胸骨の真ん中です。
- パッドを貼ってください。
- 解析中です...

倒れた人を見かけ声をかけても反応がなかったら、周囲に大声で助けを求めて、すぐに119番通報を行います。

呼吸を確認して息がなかったらAED到着まで人工呼吸2回と胸骨圧迫30回を繰り返します。

AEDの電源を入れます。電極パッドを、パッドに書かれた絵のとおり体に貼ります。  
※電極パッドの配線が接続されているか確認してください。

AEDの音声に従います。電気ショックの必要性など全てAEDが判断します。  
※解析中や電気ショックをかける時は傷病者に触れないでください。

**大切な命を救うために必要な行動**

- まわりに大声で知らせ協力を求めます。
- すぐに119番通報を行います。
- 早期に心肺蘇生を行います。
- AEDがある場合は早期に活用します。

東京消防庁モバイルホームページ  
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/mob/>

「応急手当の手順」をご覧ください。

# ついてて良かった!住宅用火災警報器

「ついててよかった!」という事例が、住宅用火災警報器の普及とともに年々増加しています。大切な命と財産を守るため、すべての居室、台所、階段に住宅用火災警報器を取り付けましょう。

**事例 夜間の火災で、家族が危機一髪!!**

戸建住宅に住む中学生が2階の居間にいたところ、3階から住宅用火災警報器の警報音が聞こえました。

中学生は3階に上がり、音がする部屋を確認すると、カーテンが燃えているのを発見。すぐに「火事だ!」と叫びました。子供の叫び声を聞いた両親は、風呂場からバケツリレーで水をかけ、炎を消し止めることができました。



**住宅用火災警報器は定期的に点検を!**

住宅用火災警報器が正しく動作するかどうか、月に1回点検しましょう。(点検方法は製品の取扱説明書をご覧ください。警報器にホコリが付くと火災を感じにくくなりますので手入れをしましょう。)

**悪質な訪問販売・訪問点検にご注意!**

住宅用火災警報器を「消防署から来た」などと嘘を言って、高額で売りつけるなどの被害が起っています。住宅用火災警報器を消防職員が売ることはありません。

また、悪質な業者による消火器や漏電火災警報器などの訪問点検等で、高額な料金を請求される事例が多発しています。

- トラブル防止のポイント**
- ◆点検に訪れる旨の電話があった際には、従前からの契約業者かどうかを確認しましょう。
  - ◆身分証明書等の提示を求め、必ず業者の身分を確認しましょう。
  - ◆少しでも不審に思ったら、ハッキリと点検・購入を拒否し、契約書等には絶対に署名や押印をしないようにしましょう。

## 地域防災の担い手となるために 高校生奮闘する!

足立区の小学校・中学校・高等学校が隣接する地区で、けが人の発生など実際の地震被害を想定した三校合同の防災訓練が行われました。

この訓練は、各学校の連携のもと、西新井消防署をはじめ西新井消防団、災害時支援ボランティアが訓練指導に参加し、平成19年度から実施しています。

参加した高校生たちは、児童に包帯などで応急処置を施し、手を引いたり背負ったりして優しく誘導しました。

高校生のひとり「手をつなぐと強く握り返してくれて、頼られているなど実感しました。いざという時にも、協力して守ってあげたい。」と語っていました。



地震発生!机の下に身を隠し、頭や体を守る。

高校生とともに指定避難場所へ避難。

けがをしていない生徒は、高校のグラウンドへ避難し消火訓練等に参加。

高校生が、応急救護訓練で習った包帯法を活かして応急手当を実施。

合同訓練参加学校: 足立区立高野小学校 / 足立区立上沼田中学校 / 東京都立足立西高等学校 ■実施日: 平成22年11月10日

## こんなときに#7119 東京消防庁救急相談センターにお電話を!!

急な病気やケガをした場合に、「今すぐ病院へ行ったほうがいいのかな?」「救急車を呼んだほうがいいのかな?」など迷ったときの相談窓口として、「東京消防庁救急相談センター」を開設しています。これらの相談に対し医師や看護師、救急隊経験者等の相談医療チームが24時間年中無休で対応しています。「東京消防庁救急相談センター」へのより一層のご理解をいただくため相談事例をご紹介します。

**相談例1**

夜間、夫が胸の痛みを訴え、救急車を呼ぶべきか迷って救急相談センターに相談しました。その結果、緊急性がある状態と判断され、救急相談センターの手配で、すぐに救急車で病院に搬送されたところ、緊急手術となりました。その後、夫は無事に退院することが出来ました。

**相談例2**

夜間、子供が発熱し、このくらいの熱で病院に行ってもいいか迷ったので救急相談センターに相談しました。その結果、救急車の必要はないが、すぐに病院に行った方が良くアドバイスされ、夜間でも診察可能な病院を教えてくださいました。病院に行って診察を受けて、とても安心しました。

**東京民間救急コールセンター** 0570-039-099

緊急性がない場合で、転院搬送、入退院、通院等で交通手段がないときは、東京民間救急コールセンターにお問い合わせください。東京消防庁が認定した患者等搬送事業者(民間救急車)やサポートCab(救命講習を修了している運転手が乗務するタクシー)を案内しています。

# 使ってみましたか? 住宅用火災警報器

病院へ行った方がいいのかな? 救急車を呼んだ方がいいのかな?

迷ったら #7119 東京消防庁救急相談センター (24時間無休受付)